

# 諏訪地方の経済概況速報

平成26年7月

(平成26年6月末調査)

平成26年7月25日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫  
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 5月】	諏訪公共職業安定所管内	1.00 倍	0.30 ポイント	
手形交換高【 6月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,228 枚	2,325 枚	
	金 額	10,087 百万円	4,462 百万円	
	うち不渡り	枚 数	0 枚	△6 枚
	発生状況	金 額	0 千円	△2,548 千円
電力使用量【 6月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	36,867 MWh	△5.7 %	
	高圧電力計	91,736 MWh	2.2 %	
	合 計	128,603 MWh	△0.2 %	
車庫証明取扱件数【 6月】(諏訪地方合計)		856 件	△4.9 %	
新設住宅着工戸数【H26.5月】(諏訪管内)		82 戸	△33.9 %	

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

## 地域の概況

6 月はサッカーの世界カップブラジル大会や諏訪地方にも関連する群馬県の富岡製糸場の世界文化遺産登録決定など世界的な関心事の一方で、中東やウクライナ情勢が原油高騰を招いた影響で、県内のガソリン価格は約 5 年 9 ヶ月ぶりの高水準となった。諏訪地方では、製造業は収益面で課題を抱えるものの、概ね堅調に推移する企業が多く、商業は、消費増税後の落ち込みはあるものの、回復の兆しも見えている。建設業は企業によって受注状況に差があるが、リフォームが好調で今後の公共工事受注への期待もある。観光業は天候不順やガソリン高騰などの影響が続いている。雇用情勢は、諏訪地方の有効求人倍率が 1 倍を維持し、労働力需要や求人マインドが高まった事業所が増えている。

### ●製造業 「総体的に受注増企業が増加」

自動車部品などの輸送用機械関連は、予想以上の受注量で設備導入や人員増を検討する企業がある一方で、主要取引先からの受注が減少している企業もあり企業によって様相は異なるが、総体的には前月より売上が増加した企業が増えている。ただ、下請けへのコストダウン要請は総じて厳しい。金属部品加工は、エアコンや冷蔵庫などの冷媒部品・機器、自動車、建設機械部品が好調だが、電気やガス料金の値上げで費用負担が増加している。工作機械や専用機などの一般機械は、ロボット関連と半導体関連が堅調に推移している。設備投資に対する見方は分かれるが、徐々に繁忙になってきている企業もある。電気機械は北米や新興国向けのプリンターが好調で、新規受注の引き合いもあるが、コスト面が課題となるケースもある。精密機械は、車載用カメラや医療用レンズなどは堅調だが、監視カメラやFA検知カメラはやや低調となっている。製造業全体では、4 月から増税の影響で減少していた企業が想定内の減少幅だったことから、今後の増加に期待を持つ動きもあり、回復傾向が見られるようになっている。

## ●商業 「消費者が慎重な姿勢」

価格競争は激しく、増税の影響も残るが、生鮮食料品は例年並みの売上となる店舗が多く、肉や野菜も好調だった。来客数が減少しても客単価が上がった店舗もあり、「良い物は少し高くても売れる」状況も見られた。一方、菓子やチーズの値上げはやや影響があった。衣料は増税より天候の影響で低調となった。家電もサッカーW杯の効果は見られず、低調に推移した。自動車販売は、諏訪地方の6月の車庫証明件数が856件で、前年同月比44件、4.9%の減少だったが、前月比では79台、10.2%増加している。「来店客はあるが、購入には慎重な姿勢」とする販売店もある。

## ●観光・サービス業 「ガソリン高騰などで行楽客減少」

気象庁は平年より3日早く、昨年より5日早い5日ごろ、関東甲信地方が梅雨入りしたものとみられると発表した。上諏訪温泉は、立山黒部アルペンルート終了後にインバウンドの宿泊が減少。ガソリン高騰、消費増税、ETC割引中止の影響も大きく、週末を中心に車での行楽客が減少傾向となった。観光バスも事故による法規制強化で大幅に減少した。霧ヶ峰や車山、八島などの高地は天候不順の影響や登山、ツーリング客が減少したことなどで、前年比で横ばいか減少した施設が多い。富士見方面は山野草などのイベントもあり、団体利用が増加するなど、順調に推移している。

## ●建設業 「アベノミクス効果の前年より減少も今後期待感」

市町村の6月の発注工事は、合計80件2,393百万円となった。前年同月に比べ、件数は3件減少したが、契約金額では1,049百万円増加した。一方、県関係の6月の公共工事(地元業者受注分)は11件、761百万円だった。平成26年4月～6月の累計は16件918百万円で、前年同期の累計比では件数が34件、契約金額は824百万円減少(△47.3%)した。アベノミクスの特殊要因があった前年より大幅減少だが、2月補正予算に伴う大口工事が出始めており、今後は堅調に推移する見込み。民間工事は、諏訪地方の5月の新設住宅着工戸数が82戸で、前年同月比42戸の減少(△33.9%)となった。

## ●雇用 「有効求人倍率1年間、前年同月を上回る」

諏訪地域の5月の有効求人倍率は、前年同月を0.30ポイント上回り、前月と同率の1.00倍となった。前年同月を12ヶ月連続で上回った。全国平均は1.09倍でバブル後最高水準となり、長野県平均も1.08倍と5ヶ月連続で1倍台を上回っている。新規求人(全数)は1,336人で前年同月比15人増加(1.1%)した。要因別では「継続する人員不足」が、上昇した前月からさらに上がり、「創業・新分野展開」も増加した。「業務量拡大」「欠員補充」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は、「卸・小売業」で52.8%、「飲食店・宿泊業」が20.7%増加し、「建設業」がやや減少した。新規求職者数は927人で、前年同月比223人減少(△19.4%)した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は38人で、前年同月比20人減少し、前月比でも105人減少した。

## 業種別動向

### 1. 電気機械

プリント基板	セラミックス関係の高付加価値品は好調な推移となっている。
プリンター	東南アジアをはじめとする新興国向けが好調。取引先によって格差があり、引き合いはあるが、コストも課題となっている。
コンタクター・リレー	総体的に受注は安定的に推移している。施設関連の電源切替装置などは建物自体の建築が遅れて受注が遅くなるケースもある。

### 2. 輸送用機械

自動車	取引先によって増減があったり、厳しいコストダウン要請などで収益性に課題があるものの、総体的に海外子会社を含めて受注が好調に推移している企業が多い。増税の反動と見られる一時的な受注減少もあったが、6月は回復傾向の企業が増えている。受注増対応で増員や新規機械設備の導入を検討する企業もある。
船外機	北米向け 4 ストロークエンジンは安定し、受注は堅調に推移している。欧州は低調で新興国向けの 2 サイクルエンジンは横ばいの状況となっている。
その他	バイク部品はやや低調。各種モーター部品は波がある。

### 3. 一般機械

工作機械・専用機	徐々に取引先の設備投資が始まり、受注が増加している企業が増えている。新機種製造に伴うロボット関連や検査装置の受注は旺盛で、半導体関連も堅調に推移している。完成品の北米向けも好調を維持している。
搬送用機械	食品関連などで回復傾向が見られ、今後もある程度堅調に推移する見込み。
建設機械	新規引き合いがあり、好調な動きがある。
ダイカスト	量産物の受注が増えた企業もあり、回復傾向が見られる。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの5月の生産台数は約356万台。前月比6.9%減少、前年同月比では31.2%の減少となった。5月の出荷台数は国内出荷約38万台、海外出荷約310万台の合計約348万台となり、前月比10.2%減少、前年同月比は34.8%減少となっている。
レンズ	レンズ加工の生産は海外が主体で国内は減少しているが、研究機関向けレーザー用レンズ、医療機器用レンズは堅調。工程が多かったり、高難度の受注は多い。

## 5. 繊維

ニット

高級品を中心に受注は増え 7 月以降は冬物の生産が繁忙期を迎える。原材料、燃料の値上がりによる価格転嫁は難しい。

## 6. 食品

寒天

スーパーや道の駅で売上が上向き、業務用寒天も伸びている。今後の売上は天候しだいと見られる。

味噌

増税の反動もあり、4 月以降低調な動きが続いている。円安による資材の仕入れ価格上昇の影響もある。

## 7. 製材

諏訪地方の 5 月の木造新設住宅着工戸数は 73 戸で、前年同月比 30 戸減少した。

## 8. 建設

公共工事

6 月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所 9 件、その他土木工事 2 件の合計 11 件で、契約金額は 761 百万円だった。平成 26 年 4 月～6 月の累計は 16 件、918 百万円となり、前月に続き、前年同期累計比で件数、契約金額とも減少した。前年はアベノミクス効果があり大幅増だったため減少しているが、一昨年同期累計比では 486 百万円、112.4%の増加となっている。前月比の減少幅も縮小している。7 月以降は公共工事と、それに付随する民間工事が出る期待感がある。

市町村の 6 月の発注工事は、下諏訪町の庁舎耐震補強工事と南小改築工事があり、建築工事 14 件 1,455 百万円、土木工事及び下水道工事 43 件 818 百万円、その他工事 23 件 120 百万円の合計 80 件 2,393 百万円となった。

民間工事

諏訪地方の 5 月の新設住宅着工戸数は 82 戸で、前年同月比で 42 戸の減少(△33.9%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は 18 戸減少の 73 戸、「貸家」は 19 戸減少の 1 戸、「分譲」は 3 戸減少の 8 戸となった。平成 26 年 4 月～5 月の累計は 182 戸で、前年同期累計比では 35 戸の減少(△16.1%)となっている。ただ、個人のリフォームや事業所の修繕工事は繁忙で、不動産に対する関心も高い。請負の状況は、業者間で差があるが、当面の工事量は確保している企業が多い。

長野県内の 5 月の新設住宅着工戸数は 997 戸で、前年同月比 4.0%減少した。前年同月比の利用関係別では、「持家」が 579 戸で 23.4%減少、「貸家」は 228 戸で 54.1%増加、「給与」が 105 戸で 2,000%増加、「分譲」は 85 戸で 34.6%減少した。

## 9. 商業

衣料	朝晩が低温の日が多く、夏物衣料は低調だった。消費増税の反動というより天候の要因が大きい。
食料品	生鮮品は増税の影響はほとんどなく、「家庭在庫」が底をついた消費者の需要はあるが、来店客数は減少傾向となっている。
家電製品	4月以降、洗濯機、冷蔵庫中心に家電販売は総体的に低調。これまで引き合いが多かった太陽光発電システムも一服感がある。
自動車	県内の6月の新車新規登録台数は、登録車が3ヶ月連続で減少し、軽自動車も2ヶ月連続で減少した。全体では前年同月比138台減少(△1.4%)の9,663台で、3ヶ月連続の減少となった。
ホームセンター	気温が低く、扇風機やすだれなど例年伸びる商品が低調で、除菌、除湿用品が伸びた。消費増税の反動減は回復傾向となっている。

## 10. 観光

上諏訪温泉	諏訪湖温泉協同組合の調べでは、6月の宿泊人数は総体で前年減となり4ヶ月ぶりに3万人を切った。前年同期比70~110%台の施設が多い。
蓼科・白樺湖・車山等	本格的な夏季シーズンとなったが、天候の影響もあってやや低調だった。富士見方面は宿泊や合宿施設、別荘管理事業が概ね順調に推移した。
下諏訪温泉	昨年が低調だったこともあり、団体客を中心に増加した施設がある。反面、減少した施設もあり区々。
諏訪大社	上社・下社合わせた6月の参拝者数は約4万4千人で、前年同月比では約4千5百人の減少(△9.4%)となった。

### ● 企業からのコメント

- ・ ガソリン価格が上昇を続け、今後の中東情勢とともに、太陽光やシェールガスなど将来的なエネルギーがどうなるか心配(輸送機器関連製造業)
- ・ 諏訪地域の製造業は概ね堅調そうだが、この状態がいつまで持つか疑心暗鬼な面があるのでは(専用機械製造業)
- ・ 全体的には回復傾向だが、これまで受注がなかった既存先からの受注が増加するか。今の状態が3ヶ月続けば本物(一般機械製造業)
- ・ サッカーW杯で日本が勝利すると、外出して飲酒する人が増えるが、敗戦時には低調だった。一部企業は利用が増えているが、多くの企業の景況感はまだ上がっていない(自動車代行業)
- ・ 小グループや家族単位の個人旅行が増えている(観光土産店)
- ・ 来店客は減少しているが、例年に比べて大幅減少ではない。消費増税の反動減は想定より軽微だった(自動車販売業)